

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会福祉概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 水曜4限	教室名	4校舎401
担 当 教 員	酒井 崇	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
社会福祉の概要や、医療従事者として携わることになる各種サービス内容を把握する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜プリント配布 【参考図書】地域言語聴覚療法学						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
医療従事者は臨床現場で様々な相談を受けることが多くあります。相談に応えるための対人援助の基本を身につけると共に、社会福祉制度や現状を把握していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉の歴史を説明することができる。 社会保障制度を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料		
		各コマにおける授業予定	日本の社会福祉の歴史を学ぶ。 社会保障制度の体系を知り、社会福祉を展開する組織を学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療福祉を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	介護保険制度について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	低所得者福祉を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	生活保護制度について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	日本の高齢化の現状、高齢者に関わる法制度について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	障害者に関わる法制度について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	子ども福祉を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	日本の少子化対策、子どもに関わる法制度について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域福祉を説明することができる。 社会福祉の相談援助を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	地域福祉について学ぶ。 ケースワークについて学ぶ。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			